

2024年11月14日

各位

JMSの特許「閉鎖機能付き接続コネクタ」が 令和6年度中国地方発明表彰で会長賞を受賞

～抗がん薬など危険性医薬品の安全な投与を支える閉鎖機構が高く評価されました～

株式会社ジェイ・エム・エス（本社：広島県広島市、代表取締役社長：桂 龍司）は、このたび「閉鎖機能付き接続コネクタ」（特許第5907379号）が、公益社団法人発明協会が主催する「令和6年度中国地方発明表彰」の「広島県発明協会 会長賞」を受賞したことをお知らせします。

本発明は、抗がん薬など危険性の高い医薬品を扱う医療現場において、患者や医療従事者の安全確保と効率的な作業を支える技術として評価をいただいたものであり、当社の閉鎖式薬剤移注システム「ネオシールド」（以下「ネオシールド」）に応用されています。

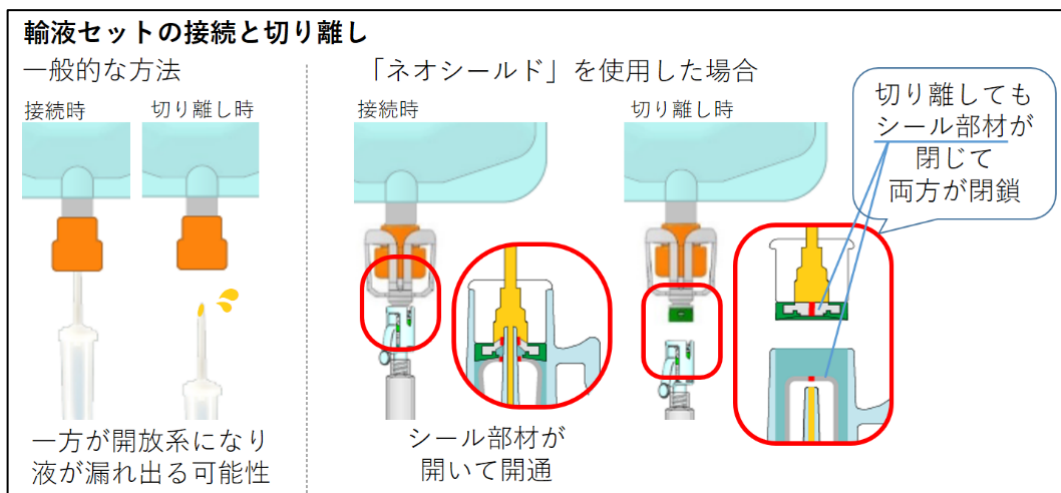
「地方発明表彰」は毎年、国内の各地方で優れた発明や技術革新を生み出した研究者・技術者を表彰し、地域産業や科学技術の振興に寄与することを目的に実施されています。このたび、令和6年度中国地方発明表彰において「広島県発明協会 会長賞」を受賞した「閉鎖機能付き接続コネクタ」は、抗がん薬などの投与時に求められる安全性と効率性を両立する技術として評価されました。

発明の背景

医療現場における薬剤投与の場面では、輸液チューブや接続器具の操作時の清潔性と使用中の密閉性が大きな課題となっています。特に、抗がん薬など危険性の高い薬剤を扱う際には、接続部からの液漏れや飛散に伴う汚染リスクの低減が求められています。

発明の特徴

「ネオシールド」に採用されたこの接続コネクタは、医療現場での作業を簡便にしつつ、薬剤が漏れないようにするための接続時も切り離し時も常時閉鎖する機能を備えています。接続部にゴム部材を用いた独自の構造により、接続を解除すると自動で閉じる仕組みとなっており、従来に比べて高い密閉性と操作性を実現しました。



「ネオシールド」の常時閉鎖する機構は、より安全な医療の実現に貢献する技術として、数多くの医療施設に導入されており、今後国内に止まらず海外での需要が高まることが期待されています。引き続き、当社はグローバルな視点で医療現場における安全性と効率性の向上に向け、さらなる技術革新を進めてまいります。

※公益社団法人 発明協会 地方発明表彰についての詳しい情報は、Web サイト(<https://koueki.jiii.or.jp/hyosho/chihatsu/chihatsu.html>)をご覧ください。



2024年11月12日に、令和6年度中国地方発明表彰式が執り行われました。

本リリースに掲載されている将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、社会情勢の大きな変化などさまざまな潜在的リスクや不確実性が含まれております。当情報につきましては発行日時点のものであり、将来的に変更される可能性のあることをご承知おき下さい。

また、医療機器や医薬品の情報が含まれていますが、これらは報道関係者、株主・投資家等の皆様を対象にした情報であり、顧客誘引や医学的アドバイスを目的とするものではありません。

お問い合わせ先 株式会社ジェイ・エム・エス
経営戦略室 経営企画グループ

(電話) 082-243-9059
(mail) pub-bpd@jms.cc